

兵庫教育大学



# 学 報

第246号  
平成15年 1月

題字 中洲正堯学長



平成14年度兵庫教育大学嬉野台地区防災訓練（関連記事 8頁掲載）

## 目 次

年頭の辞 .....	2	サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業（SPP事業）「教員研修 - 理科教員のための組換えDNA実験講座 - 」の実施	
教員就職率が全国第1位に .....	4	同和・人権教育講演会の開催	
規則改正等 .....	5	平成14年度リーダーズセミナーの実施	
・兵庫教育大学教員の任期に関する規則の一部を改正する規則		やしろ国際交流協会とクリスマスパーティーを開催	
・兵庫教育大学学生規則の一部を改正する規則		社町ボランティア団体「世友会(よゆうかい)」から留学生にいちごの苗プレゼント	
学事 .....	6	附属幼稚園「もちつき」の実施	
・平成15年度兵庫教育大学大学院学校教育研究科(修士課程)選抜状況		ストローミュージック・リコーダー鑑賞会の開催	
・奨学寄附金		附属小学校マラソン大会の実施	
・受託研究		全学レクリエーション「バドミントン大会」の実施	
人事 .....	7	全学レクリエーション「第2回ボウリング大会」の実施	
・人事異動		主要日誌 .....	12
諸報 .....	8		
・運営評議会・教授会・学校教育研究科委員会			
・連合学校教育学研究科代議委員会			
・平成14年度兵庫教育大学嬉野台地区防災訓練を実施			

- 年 頭 の 辞 -



学 長 中 泷 正 堯

### 心の正月

元日の朝（元旦）は、やはり晴れているほうが春着（正月用の晴れ着）のためにもいいのでしょう。ところが、あいにくの天気ですと雨になると、季語では「御降（おさがり）」と言っています。もっとくわしく言うと、「おもに元日のことであるが、三が日に降る雨または雪のことをいう。風も晴れも元日は初風・初晴と呼んでありがたく思うのと同じ気持ちで敬称したものであろう。」<sup>1)</sup>ということになります。これは、仲秋の名月の日に雨が降ると、わざわざ「雨月」と称する心と相通います。敬し愛する心といってもよいものです。そういう心根は、私たち日本人からどんどん忘れ去られていくようです。

### 「大地からの手紙」

昨年、12月に文化審議会は「文化芸術の振興の基本方針」を答申しました。上に述べたようなことから文化芸術の範疇ではないかもしれませんが、季語は多様な文化芸術の一端に入るでしょう。

答申の冒頭に置かれた「大地からの手紙」という詩文が話題になりました。私は、12月9日付の『文教ニュース』でその記事を見て、コピーしましたが、まもなく12月13日付の『日本教育新聞』の「不易流行」欄でも取り上げられました。それによれば、「大地からの手紙」の筆者は、委員の一人で作詞家の岡田富美子さんということでした。

「大地からの手紙」は、800字ほどの文章です。冒頭と末尾を引いてみます。

日本は疲れています。日本は自信をなくしています。

日本人は彷徨い続けています。

戦後、ものを作り、ものを売って高度経済成長を果たした日本は、この半世紀を爆走しながら、富の代わりに何を手放し、何を見失ってきたのでしょうか。

これが冒頭です。こうした論調の末に、狂想曲は鳴り終わりました。

立ち止まって、青空を見上げてみませんか。久しぶりに大地と話してみませんか。

日本は今、日本を蘇らせる「日本人の熱いちから」を待っています。

と結ばれています。

### 「江戸ソップ（スープ）」

この手紙から、はたと思い返したことがあります。昨年は「江戸しぐさ」<sup>2)</sup>に学んで、あちこちでそれを話題にしましたが、その一つ、「江戸ソップ」のことです。これも、文章を読んでいただくとすぐわかることなので引用してみます。

滋養をつけるには江戸ソップ（スープ）という栄養食があった。

根菜類（人参、大根、ごぼう、はすなど）やしいたけなどのきのこ類を親指の頭ぐらいの大きさに切り揃え、昆布の出し汁でゆっくり、ほほえむように（けっして強火にしない）時間をかけてコトコト煮込む。ほほえむように煮れば、温かい湯の中で気持ちよくなった野菜たちが、大地で十分に吸収した恵み（エキス）を静かに吐き出してくれるといい伝えられてきた。（下線引用者）

味は野菜の持ち味だけで塩さえ入れない

これが「江戸ソップ」。今でも時間のかかる本式のコンソメスープのようだ。ソップは貴重な薬のように扱った。

というのです。「大地からの手紙」が求めている根本精神は、かつての江戸の生活にそのまま具現化されていた感があります。「ソップは町内の講中で大鍋でつくり、病人ばかりでなく、行き倒れの人や、火事で焼け出された人、川で溺れた人にもふるまったという。……あらゆるところに、こうした共生の考え方が行き渡っていた。」と解説されています。

#### “教科”の元気

「大地からの手紙」から「江戸ソップ」へ話が飛びました。それにしても、文化芸術の振興の基本方針の頭書が、なぜ青空や大地への誘いだったのか。文化芸術の根底としての自然への回帰と解しておいて、答申の内容を追ってみます。

「重視すべき方向」に、<「文化芸術に関する教育」、「国語」、「文化遺産」、「文化発信」、「文化芸術に関する財政措置及び税制措置」を重視して文化芸術の振興に取り組む。>とあります。

「国語」に関しては、わがプロパーのことであり、基本的政策に「これからの時代に求められる国語力を踏まえた国語教育の格段の充実 等」とうたわれているのを見ますと、身内に血の動くのを感じます。文化芸術に関わるもろもろの先生方は、この答申をどうお感じでしょうか。

大学院の修士課程の定員確保をめぐる、いわゆる教育関係の側から、教科の関係はもっと元気を出すべきだという声を聞きます。教科の関係の沈滞は、時代のうねりという側面も否定はできません。答申も「振興」をうたっているのがその証拠です。ですが、そのうねりに教科のマナーや教科の孤立が加担したと言えなくもないのです。

「魅力があれば人は集まる」という踏み絵に対応する営みを怠ることはできません。研究・教育の伝統（不易）を現在に活かす工夫が必要です。

自然の中の法則の発見、生産やものづくりの体験、感覚や身のこなしの演練など、文化芸術を支えるべき教科の内なる元気が、今まさに問われているといえます。その元気は、現在準備中の法人

としての中期目標・中期計画に反映することが期待されます。

ついでに年来の期待をいえば、子どもの成長に関しては初等中学年教育の総合的研究、テーマに関しては感覚・感性教育の総合的研究の推進による兵庫教育大学方式の樹立です。

もう一度、「江戸しぐさ」の話題にかえりますと、江戸のことわざに「三つ心、六つ躰、九つ言葉、十二文、十五理で未決まる」というのがあるそうです。数え年三歳までに、人間の心の糸がかたくならないうちにしっかり張らせる、六歳になるころまでには、心の糸の上手な動かし方を、手取り足取りまねをさせる、九歳までには、どんな人にも失礼でない挨拶ができるようにする、十二歳になるころには、一家のあるじの代書ができるようにする、十五歳では、経済、物理、化学などの諸事象が、理屈でなく、暗記でなく、実感として理解できるようにする、というものです。この教育観は、いかがですか。

#### 兵庫教育大学25周年

折も折、創設25年を迎えます。新教育大学として出発した本学が、もう一つ脱皮し、新生していくための身ごしらえの年になります。

卒業生・修了生と結ぶ研究・教育のネットワーク事業はすでに開始しており、これを確立するためにも、記念となる企画を進めたいと思います。ネットワークが実動するように、都道府県の担当教官の設置もおはかりしたいところです。

昨年末に全国国立大学の教員就職率の公表があり、本学は文字通り抜群の成績でトップに立ちました。この勢いをかりて、国立大学法人兵庫教育大学として、一気に駆け抜けていきたいものです。

#### 注

- 1) 俳句文学館編『入門歳時記』角川書店、1984
- 2) 越川禮子『商人道「江戸しぐさ」の知恵袋』講談社+ 新書、2001

E-mail: office-president@office.hyogo-u.ac.jp

## - 教員就職率が全国第1位に -

文部科学省は、平成14年3月に国立の教員養成系大学・学部（教員養成課程）を卒業した者の就職状況（平成14年9月30日現在）を平成14年12月25日に公表した。これによると、臨時講師など期限付きを含む教員就職者は5,935人で、卒業者に占める割合は45.0%であった。このうち、正規採用者は2,301人（17.4%）と前年に比べ395人増加した。

### 新規卒業者の教員就職率の高い大学ランキング

第1位	兵庫教育大学	68.4%
第2位	愛知教育大学	59.1%
第3位	上越教育大学	58.1%
第4位	信州大学	57.5%
第5位	群馬大学	53.8%

本学の平成14年3月学部卒業者の教員就職率は68.4%で、2年振りに全国第1位に返り咲いた。

本学は、初等教育教員養成を目的とした大学として、一人でも多く教員として教育現場に送り出すことが課題であるとの認識から、これまで就職指導体制の強化を図り、就職相談室では、学内教官・学外の教員経験者等による進路相談をはじめ、各種の就職セミナーや教職講座、一般教養及び教科専門試験の対策講座等を企画し実施してきた。また、1年次及び3年次合宿研修のプログラム

に、教職や教員採用試験に関する内容を盛り込むなど、学生に早期からの就職に対する意識の高揚を図ってきた。

結果として、最上位の成績であったが、正規の教員就職率が依然厳しい状況にあることから、今後も教職員が学生と一体となって、教員就職率向上に向けて、なお一層努力することが求められている。

### 本学の平成14年3月卒業者の就職状況

区 分	就 職 者				進 学 者 そ の 他	計 (卒業者)
	教 員 就職者	左 の 内 訳		そ の 他 就職者		
		正 規	期 限 付 等			
本 学 の 平成14年 3月 卒 業 者	人 130 (68.4%)	人 45 (23.7%)	人 85 (44.7%)	人 30 (15.8%)	人 30 (15.8%)	人 190 (100.0%)

(注) 1 平成14年9月末までの状況を取りまとめたものである。

2 教員就職者とは、国公私立の小、中、高等、特殊教育諸学校、幼稚園の教員に就職した者である。

3 ( ) は、卒業者に対する割合(%)である。

### 本学の教員就職率の推移

平成14年3月卒業者	68.4%(全国第1位)
平成13年3月卒業者	57.1%(全国第2位)
平成12年3月卒業者	50.5%(全国第1位)
平成11年3月卒業者	44.0%(全国第3位)
平成10年3月卒業者	43.8%(全国第7位)

### 参考

#### (1) 最近の新規卒業者の教員就職率の推移

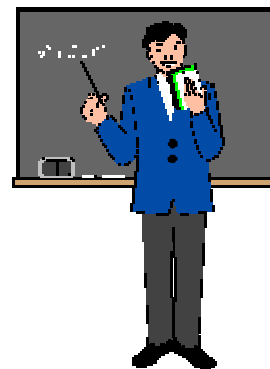
卒 業 年	10	11	12	13	14
教員就職率	34.8%	32.0%	33.7%	37.8%	45.0%

#### (2) 最近の公立学校教員採用者数（正規採用）の推移

年 度	10	11	12	13	14
採用者数	14,178人	11,787人	11,021人	12,606人	16,688人

(注) 1 公立の小・中・高等・特殊教育諸学校の教諭、養護教諭の計である。

2 新規卒業者のほか、過年度卒業者を含む。



## - 学 内 規 則 等 -

兵庫教育大学教員の任期に関する規則の一部を改正する規則

## ▶改正理由

言語系教育講座及び芸術系教育講座の助手の任用について、新たに任期制を導入するため、所要の改正を行うものである。

## 規則第7号

兵庫教育大学教員の任期に関する規則の一部を改正する規則を次のように定める。

平成14年12月11日

兵庫教育大学長 中 洌 正 堯  
兵庫教育大学教員の任期に関する規則の一部を改正する規則

兵庫教育大学教員の任期に関する規則（平成13年規則第6号）の一部を次のように改正する。

別表（第2条関係）中

学校教育学部 幼年教育講座	助手	3年	再任不可	法第4条第1項第2号
学校教育学部 障害児教育講座	助手	5年	再任不可	法第4条第1項第2号
学校教育学部 生活・健康系教育講座	助手	5年	再任不可	法第4条第1項第2号
学校教育研究センター 情報メディア教育研究部門	助手	3年	再任不可	法第4条第1項第2号

を

学校教育学部 幼年教育講座	助手	3年	再任不可	法第4条第1項第2号
学校教育学部 障害児教育講座	助手	5年	再任不可	法第4条第1項第2号
学校教育学部 言語系教育講座	助手	5年	再任不可	法第4条第1項第2号
学校教育学部 芸術系教育講座	助手	5年	再任不可	法第4条第1項第2号
学校教育学部 生活・健康系教育講座	助手	5年	再任不可	法第4条第1項第2号
学校教育研究センター 情報メディア教育研究部門	助手	3年	再任不可	法第4条第1項第2号

に改める。

## 附 則

この規則は、平成14年12月11日から施行し、改

正後の兵庫教育大学教員の任期に関する規則別表中、学校教育学部言語系教育講座及び学校教育学部芸術系教育講座の項の規定は、同日以降に任用される者から適用する。

兵庫教育大学学生規則の一部を改正する規則

## ▶改正理由

学生に対する各種証明書を自動発行機により発行することに伴う発行機に対応した学生証の様式の変更及び記載事項等の整理を行うため、所要の改正を行うものである。

## 規則第8号

兵庫教育大学学生規則の一部を改正する規則を次のように定める。

平成14年12月11日

兵庫教育大学長 中 洌 正 堯  
兵庫教育大学学生規則の一部を改正する規則


兵庫教育大学学生規則（昭和55年規則第5号）の一部を次のように改正する。

第5条第2項中「ただし、連合学校教育学研究科の学生については、別記第7号様式の2のとおりとする。」を削る。

同条第3項中「兵庫教育大学大学院神戸サテライトの名称及び所在地を」の後に「、大学院連合学校教育学研究科学生の学生証にあつては、配属大学の名称及び所在地をそれぞれ」を加える。

別記第7号様式（第5条関係）を次のように改める。

（表）

	<b>兵庫教育大学学生証</b>			
	(Hyogo University of Teacher Education)			
顔写真	所 属			
	学籍番号			
	氏 名			
	生年月日	年	月	日
	有効期限	年	月	日 発行
上記の者は本学の学生であることを証明する。				
発行者 兵庫県加東郡社町下久米942-1				
兵庫教育大学長				



(裏)

矢印の方向に入れてください。

- (1) 学生は、常に学生証を携帯すること。  
 (2) 本証は、本学関係者から請求があったときは、速やかに提示すること。  
 (3) 本証を紛失又は汚損し、使用不能となったときは、速やかに届け出て再交付を受けること。  
 (4) 卒業、修了、退学等により学籍を離れたとき、又は有効期間が経過したときは、直ちに返還すること。  
 (5) 記載事項に変更があるときは、速やかに届け出て再交付を受けること。  
 (6) 本証を他人に貸与し、又は譲渡してはならない。

別記第7号様式の2(第5条関係)を削る。

別記第8号様式(第8条関係)中

「

所 属	
学籍番号	
氏 名	
生年月日	年 月 日生
住 所	

」

を

「

所 属	
学籍番号	
氏 名	
生年月日	年 月 日生

」

に改める。

附 則

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

## - 学 事 -

平成15年度兵庫教育大学大学院学校教育研究科(修士課程)選抜状況

平成15年度大学院第2次募集入学選抜試験を平成14年12月1日(日)に実施し、12月12日(木)に合格者を発表した。合格者数等は次のとおりである。

## 1 専攻・コース別合格者数等

専 攻 ・ コ ー ス		募集人員	応募者数	受験者数	合格者数
		人	人	人	人
学校教育専攻	教育基礎コース	約 5	2	2	2
	教育経営コース	約 5	3	3	3
	教育方法コース	約 10	4 ( 1 )	4 ( 1 )	2 ( 1 )
	生徒指導コース	約 5	2 ( 1 )	2 ( 1 )	1 ( 1 )
	幼年教育コース	約 5	3	3	3
	小 計	約 30	14 ( 2 )	14 ( 2 )	11 ( 2 )
障害児教育専攻		約 5	8 ( 1 )	8 ( 1 )	8 ( 1 )
教科・領域教育専攻	言語系コース(国語分野)	約 10	6 ( 1 )	6 ( 1 )	5 ( 1 )
	言語系コース(英語分野)	約 10	9 ( 3 )	9 ( 3 )	9 ( 3 )
	社会系コース	約 15	8 ( 2 )	8 ( 2 )	8 ( 2 )
	自然系コース(数学分野)	約 10	4	4	4
	自然系コース(理科分野)	約 10	4 ( 3 )	4 ( 3 )	4 ( 3 )
	芸術系コース(音楽分野)	約 5	7 ( 1 )	7 ( 1 )	7 ( 1 )
	芸術系コース(美術分野)	約 5	2	2	2
	生活・健康系コース(保健体育分野)	約 5	1 ( 1 )	1 ( 1 )	1 ( 1 )
	生活・健康系コース(技術分野)	約 5			
	生活・健康系コース(家庭分野)	約 5	3 ( 1 )	3 ( 1 )	3 ( 1 )
	総合学習系コース(夜間クラス)	約 10	1 ( 1 )	1 ( 1 )	1 ( 1 )
	小 計	約 90	45 ( 13 )	45 ( 13 )	44 ( 13 )
	合 計	約 125	67 ( 16 )	67 ( 16 )	63 ( 16 )

(注) 1. 志望は、第1志望のみ。

2. ( ) 内の数は、3年以上の教職経験を有する現職教員(同意書なしを含む)を内数で示す。

## 2 3年以上の教職経験を有する現職教員(同意書なしを含む)の合格者の所属学校種別内訳

計	内 訳					
	小学校	中学校	高等学校	特殊教育諸学校	幼稚園	他
16	5	3	7	1	0	0

## 3 3年以上の教職経験を有する現職教員(同意書なしを含む)の合格者の教職経験年数別内訳

計	内 訳		
	3年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上
16	2	6	8

## 奨学寄附金

寄附申込者	研究担当者	寄附の目的	金額
兵庫教育大学学校教育学部附属小学校教育後援会 会長 磯貝 匡仁		兵庫教育大学学校教育学部附属小学校の教育研究の振興・充実等のため	246,000円
米日財団東京事務所 所長 詫摩 武雄	社会系教育講座 教授 佐々木 正道	初等中等教育の場における国際理解教育の実施に関しアメリカ合衆国を対象とした教員研修のための助成	12,220,200円 分割受入

## 受託研究

委託者名	研究題目	研究期間	研究担当者	研究に要する経費
国立精神・神経センター	外傷ストレス関連傷害(PTSD)に関する研究	平成14年10月15日 ~ 平成15年3月31日	教育臨床講座 助教授 岩井圭司	740,000円 (うち消費税額及び地方消費税額35,238円)
播磨内陸広域行政協議会 会長 内橋 直昭	広域行政の研究	平成14年11月1日 ~ 平成15年3月31日	総合学習系教育講座 教授 西村治彦	500,000円 (うち消費税額及び地方消費税額23,809円)

## - 人 事 -

## 人事異動

(学部等)

年月日	発令事項	新官職等	氏名	旧官職等
15. 1. 1	採用	学校教育学部講師 (教育臨床講座)	嶋崎 まゆみ	川崎医療福祉大学医療福祉学部 臨床心理学科講師

## - 諸 報 -

## 運営評議会

第10回 平成14年12月11日(水)

(議題)

- 1 兵庫教育大学教員の任期に関する規則の一部を改正する規則の制定について
- 2 兵庫教育大学学生規則の一部を改正する規則の制定について
- 3 教員の選考開始等について
- 4 平成15年度大学院学校教育研究科の追加学生募集について
- 5 平成14年度卒業式・学位記授与式及び平成15年度入学式の日程について
- 6 平成15年度授業暦について
- 7 奨学寄附金の受入れについて
- 8 平成15年度文部科学省内地研究員の受入れについて

## 教授会

第8回 平成14年12月11日(水)

(議題)

- 1 兵庫教育大学教員の任期に関する規則の一部を改正する規則の制定について
- 2 教員の選考について
- 3 教員選考委員会の設置等について

## 研究科委員会

第8回 平成14年12月11日(水)

(議題)

- 1 平成15年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験(第2次)の合否判定について
- 2 平成15年度大学院学校教育研究科(修士課程)追加学生募集要項について
- 3 大学院学校教育研究科担当の認定について
- 4 平成14年度論文審査委員会委員候補予定者について
- 5 平成15年度大学院学校教育研究科授業科目担当教官の変更等について
- 6 外国人研究生の入学について

## 連合学校教育学研究科代議委員会

第7回 平成14年12月4日(水)

(議題)

- 1 総合共通科目検討委員会要項の改正について

- 2 研究科教官資格審査関係書類作成要領の改正について
- 3 総合共通科目担当教官の資格審査について
- 4 論文提出による博士の学位論文審査委員会の設置について
- 5 総合共通科目担当者の変更について
- 6 博士候補認定試験の実施について
- 7 平成15年度授業時間表の決定について
- 8 平成15年度入学試験出願資格認定審査について
- 9 研究科研究生の入学について
- 10 国立大学法人化にかかる連合大学院の「中期目標・中期計画」について
- 11 遠隔リアルタイム・コラボレーションシステムの導入について

平成14年度兵庫教育大学嬉野台地区防災訓練を実施

12月18日(水)に加東消防署の協力を得て、自衛消防隊長(事務局長)をはじめ多数の教職員、学生が参加して防災訓練が行われた。

訓練では、13時35分に教育・言語・社会棟3階西側から出火という想定のもとに、通報訓練、避難訓練、梯子車による救助訓練、自衛消防隊の放水訓練の後、消火器による消火訓練を実施した。

また避難訓練の一環として、広場に設置した「煙道」を通る火災時の模擬体験も行われた。

さらに、起震車による震度7程度の地震体験、防災に関するビデオ講習、ダミー人形を使った人工呼吸法の体験講習を併せて行った。

訓練終了後、加東消防署から講評を受け、防災に対して更なる心構えと意識の高揚が図られた。

サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業(SPP事業)「教員研修-理科教員のための組換えDNA実験講座-」の実施

12月5日(木)、6日(金)の両日にわたり「理科教員のための組換えDNA実験講座」をテーマに同事業「教員研修」が県内の高等学校教諭16人が参加のもと実施された。同事業は、大学、研究機関等の人材、施設、設備等を学校における科学技術・理科、数学教育に活用しようとするものである。



同実験講座は、自然系教育講座 渥美教授、笠原助手の指導のもと、教育目的組換えDNA実験に基づいた基礎的な実験技術を習得するとともに、実験指導者の安全確保に関する考え方と、組換えDNA実験の原理などの専門知識を深めることを目的に実施され、実験ではDNAを抽出後、切断とアガロース電気泳動による解析などを行った。実験後は活発に質疑応答が行われ、好評のうち2日間の日程を終了した。



#### 同和・人権教育講演会の開催

同和・人権教育講演会が、学生・教職員約170人の参加のもと、12月4日(水)に本学講堂において開催された。



講演会では、佐藤副学長の講演会の趣旨説明及び講師紹介の後、「スクール・セクシュアル・ハラスメント防止全国ネットワーク」近畿ブロック代表岡本京子氏による基調講演「教育現場におけるセクシュアル・ハラスメント」が行われ、教育現場におけるセクシュアル・ハラスメントの現状、それを捉える視点、取り組むべき課題等について、ハラスメント防止に資する貴重な示唆、提言が述べられた。

引き続き、シンポジウム「キャンパス・ハラスメントを考える」が幼年教育講座 名須川教授の司会により行われ、シンポジストの大学院学生、学部学生から身近なハラスメントの実例や意見等が、芸術系教育講座 長尾助教授から教官の立場からの意見等が述べられ、参加した学生、教職員の人権意識、特にハラスメントに対する意識が啓発される有意義な機会となった。

#### 平成14年度リーダーズセミナーの実施

平成14年度リーダーズセミナーが12月7日(土)、8日(日)に加古川市立少年自然の家で学生・教職員合わせて72人が参加のもと実施された。

同セミナーは、課外活動団体の次期リーダーとなる学生(主に学部2年次生)に対し、リーダーとしての資質向上を図るとともに、各クラブの相互理解と交流を目的に毎年実施しているもので、佐藤副学長の「リーダーのあり方」についての講話で始まり、荒木勉教授による講演「リーダーの資質と役割」、3・4年次生の現リーダーによる経験談の他、体育系と文化・芸術系に分かれクラブ活動における悩みや問題点、その解決策について討議を行った。



#### やしろ国際交流協会とクリスマスパーティーを開催

本学とやしろ国際交流協会は、12月12日(木)にクリスマスパーティーをやしろ国際学習塾大会議室で開催した。

当日は、本学の留学生を始め、外国籍の人たちも含む地元住民ら多数が参加して行われた。

パーティーでは、インドネシアの留学生が母国の舞踊を披露し、ストリングアンサンブルクラブが「クリスマスメドレー・カレン」等の演奏を行

うなど、パーティーに花を添えた。

なお、やしる国際交流協会とは、定期的にサロンを開催するなど、様々な国際交流の行事を行ってきたが、今年の大きな行事は、これで最後のため参加者達は名残を惜しんでいた。



社町ボランティア団体「世友会(よゆうかい)」から留学生にいちごの苗プレゼント

12月13日(金)、日頃から留学生の交流やイベントで親交のある社町のボランティア団体「世友会(よゆうかい)」から留学生にいちごの苗が贈られた。

留学生は、心温まるクリスマスプレゼントに喜んでいました。

附属幼稚園「もちつき」の実施

12月3日(火)に附属幼稚園において「もちつき」が行われた。

保護者の協力のもと、子どもたちは歌ったり、力強く大きなかけ声で楽しくもちつきをし、できあがったお餅を参加者全員で味わった。



ストローミュージック・リコーダー鑑賞会の開催  
12月8日(日)、附属小学校の体育館で、附属三校園のPTA主催のストローミュージック・リコーダー鑑賞会が開催された。

同鑑賞会では、子どもたちによる演奏の他、神谷徹大阪音楽大学講師の楽しいリコーダー演奏と遊び心いっぱいのストロー笛を使った演技が行われ、五百人を越える観衆は楽しいひとときを過ごした。



附属小学校マラソン大会の実施

寒さが和らいだ12月14日(土)、附属小学校第23回マラソン大会が実施された。同校グラウンドをスタート・ゴールとしたコースを、児童たちは、各学年の距離を精一杯走り抜けた。



全学レクリエーション「バドミントン大会」の実施

全学レクリエーション行事の一環として、バドミントン大会が10月から12月にかけて行われた。

大会には、過去最多の20チーム40人の参加があり、勤務時間外に日程調整を重ねながら、2リーグ制で熱戦が繰り広げられた。

なお、今回の成績は次のとおりである。

- 優 勝 土井 隆（会計課）  
石田 昭夫（会計課）  
準優勝 村井 陽一（会計課）  
臼井 隆弘（入学主幹室）  
第3位 寺川 則彦（会計課）  
宮脇 浩和（会計課）  
第4位 早崎 邦夫（庶務課）  
藤木 裕一（庶務課）



全学レクリエーション「第2回ボウリング大会」の実施

全学レクリエーション行事の一環として、第2回ボウリング大会が12月9日（月）、社スポーツレーンで行われた。

大会には30チーム、119人の参加があり、熱戦が繰り広げられた。なお、今大会の成績は次のとおりである。

#### 【団体の部】

- 優 勝 庶務課 B チーム（川本、佐古田、岡田、藤井）  
準優勝 会計課 B チーム（浅見、石田、寺川、山崎）  
第3位 小学校 F チーム（辻、井上、的場、高岡）

#### 【個人男子の部】

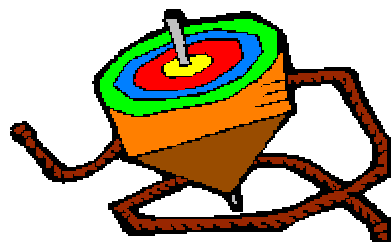
- 優 勝 笹口 篤（附属小学校）  
準優勝 岡田 雅弘（庶務課）  
第3位 松本 隆明（庶務課）

#### 【個人女子の部】

- 優 勝 田中 愛子（会計課）  
準優勝 中西 睦美（庶務課）  
第3位 西村 直美（庶務課）

#### 【ハイゲーム賞】

- 岡田 雅弘（庶務課）196点





## - 主要日誌 -

月 日	事 項
12月1日(日)	大学院学校教育研究科第2次募集入学者選抜試験
12月2日(月)	附属中学校入学生徒応募説明会
12月3日(火)	国立大学法人化準備委員会「組織業務・人事制度部会」(第15回) 広報誌編集委員会(第3回) 外国人研究生選考委員会 連合大学院論文集編集委員会(第5回) 国立大学法人会計基準の基礎実務研修(1/17まで) 附属幼稚園「もちつき」
12月4日(水)	連合大学院代議委員会(第7回) 国立大学法人化に対応するための検討委員会(第3回)(連合大学院) 同和・人権教育講演会 教員就職説明会「教職に就く人のために」 教職講座
12月5日(木)	S P P 事業教員研修「- 理科教員のための組換えDNA実験講座 -」の実施(6日まで)
12月6日(金)	学部入学試験委員会(第6回)
12月7日(土)	公開講座「発達が気になる子どもの家庭療育の方法」
12月8日(日)	ストローミュージック・リコーダー鑑賞会
12月9日(月)	大学院入学試験委員会(第5回) 情報処理センター運営委員会(第2回) 国立大学法人会計基準研修 図書館新システムOPAC説明会(13日まで)
12月10日(火)	国立大学法人化準備委員会「財務会計制度部会」(第10回) 学部推薦入学願書受付(17日まで) 実地教育・実地研究等に関する連絡協議会
12月11日(水)	運営評議会(第10回) 教授会(第8回) 研究科委員会(第8回) 国立大学法人化準備委員会(第7回) 日本育英会返還説明会 教職講座
12月12日(木)	大学院学校教育研究科第2次募集入学者選抜試験合格発表 学生寄宿舍棟長会
12月13日(金)	教員等就職対策委員会(第2回) 同和・人権教育推進委員会(第2回)
12月14日(土)	附属小学校マラソン大会 公開講座「発達が気になる子どもの

12月16日(月)	家庭療育の方法」 国立大学法人化準備委員会「理念・目標計画部会」(第10回) 実地教育委員会(第5回) 附属学校運営協議会(第4回)
12月17日(火)	国立大学法人化準備委員会「教育内容部会」(第11回)
12月18日(水)	平成14年度兵庫教育大学嬉野台地区防災訓練 国立大学法人化準備委員会「組織業務・人事制度部会」(第16回) 教職講座
12月19日(木)	国立大学法人化準備委員会「財務会計制度部会」(第11回)
12月21日(土)	公開講座「発達が気になる子どもの家庭療育の方法」
12月24日(火)	国立大学法人化の準備状況に関する全学説明会 連合大学院入学願書受付(1/7まで)
12月25日(水)	入学者選抜方法研究委員会(第2回) 学部入学試験委員会(第7回) 大学院入学試験委員会(第6回) 学部教務委員会(第8回) 衛星通信大学間ネットワークシステム(SCS)運営委員会(第1回)
12月26日(木)	高大連携プロジェクト会議(第1回)
12月27日(金)	附属図書館月末休館

適正温度で省エネ！  
こまめに運転を  
(暖房のめやす20)

編集発行 兵庫教育大学総務部庶務課  
〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1  
電話 代表(0795)44-1101

(この印刷物は、再生紙を利用しています。)